



第71期 報告書

平成29年4月1日～平成30年3月31日



HRS HIROSE
ELECTRIC
CO.,LTD.

ヒロセ電機株式会社



代表取締役社長
石井和徳

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のことと拝察申しあげます。第71期（平成30年3月期）の事業の概況をお届けし、ご報告申しあげます。

営業の全般的状況

当期のわが国経済は、雇用環境の改善、輸出の増加や堅調な設備投資等により景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。

また、海外におきましても、地政学リスクによる警戒感はあるものの、欧米経済および中国経済は引き続き堅調に推移いたしました。

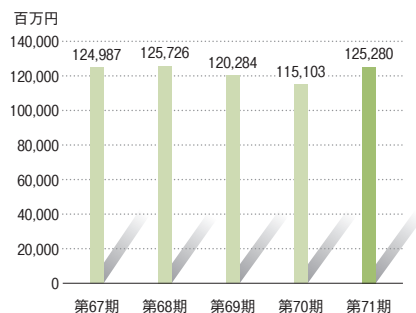
このような状況のもと当社グループは、主にスマートフォン市場向け、自動車市場向けおよび産業用機器市場向けのグローバル事業拡大を進めるとともに高度化する市場ニーズへのさらなる迅速な対応を目指し、高付加価値新製品の開発・販売・生産体制の強化を推進してまいりましたが、第4四半期に入りスマートフォンビジネスの減速および円高の影響を受けました。

その結果、当期の連結売上高は、1,252億80百万円（前期比8.8%増）、営業利益は286億49百万円（同0.6%増）、経常利益は292億34百万円（同1.9%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は195億26百万円（同8.6%減）となりました。

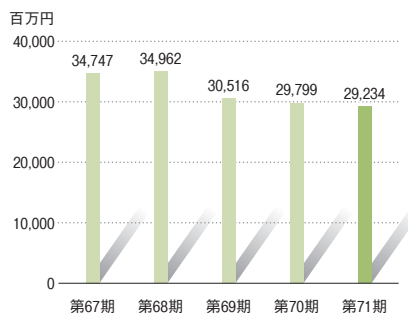
なお、当社は、東京国税局より当社から連結子会社であるヒロセコリア株式会社への棚卸資産輸出取引に関し

業績ハイライト

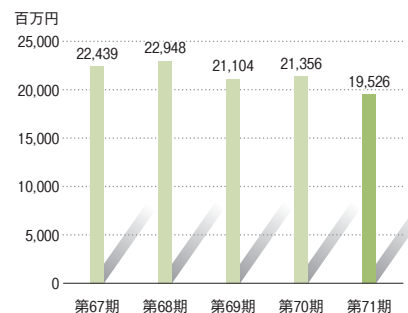
■ 売上高



■ 経常利益



■ 親会社株主に帰属する当期純利益



て移転価格税制に基づく更正を受ける見込みが高くなったため、現時点において見込まれる法人税等負担額（798百万円）を「過年度法人税等」として見積り計上しております。当社といたしましては、常にコンプライアンスを重視した経営に努めており、各国の税制につきましても遵守した経営を行っております。今回指摘を受けている取引につきましても、当該取引は適正であると考えており、今後正式に更正通知を受けた場合は、異議申し立てをはじめとする、しかるべき対応を取る所存であります。

今後の当社グループを取り巻く経営環境は、わが国経済は輸出の増加や人手不足に伴う省力化投資の増加などを背景に景気は維持基調ですが、為替相場の変動や原材料価格の上昇等により不透明な状況が予想されます。

また、海外におきましても、欧米経済は堅調なもの、さまざまな地政学リスクの高まり、米中経済摩擦の懸念等先行きは予断を許さない状況が続くものと予想されます。

当社グループといたしましては、カーエレクトロニクスのさらなる進展に伴う自動車分野での成長および産業

用機器・通信用機器分野での拡大ならびに低価格志向によりさらなる価格競争が予想されるスマートフォン等の大量品ビジネスの維持・拡大に注力してまいります。

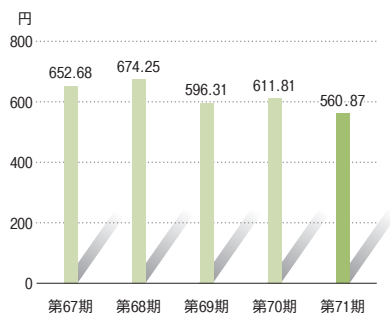
このような環境の中で当社グループは、常に最先端の技術を追求し、より効率的な資源の配分と集中化を図り、弛まぬ改善・革新に取り組み、市場ニーズに対応した高付加価値新製品の開発力強化、生産効率化の促進、品質のさらなる向上などコスト競争力を高めるとともに、生産拠点のリスク分散化および今後のビジネスの成長・拡大を目指したグローバル化の推進、国内外における販路の開拓等に努め、利益ある成長を目指して経営基盤の強化を図り、企業価値増大に取り組んでまいり所存であります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

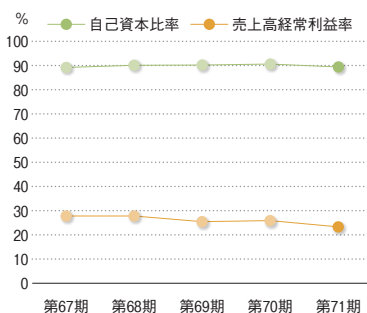
平成30年6月

代表取締役社長 石井和徳

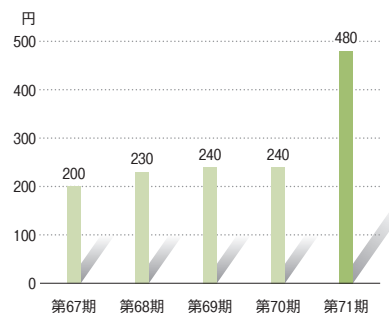
■ 1株当たり当期純利益額



■ 自己資本比率、売上高経常利益率

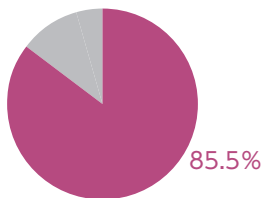


■ 1株当たり配当金



多極コネクタ

売上比率

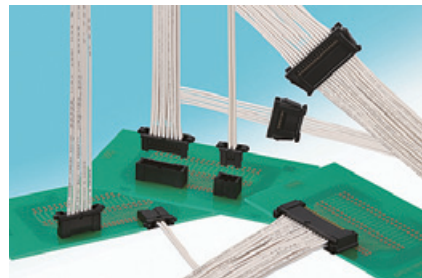
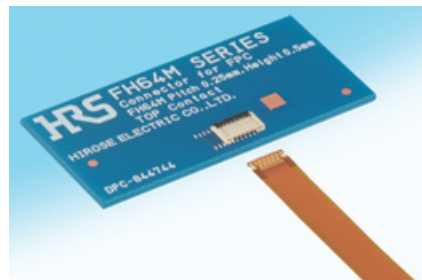
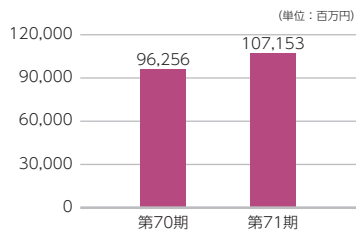


当社の主力製品群であります多極コネクタは、丸形コネクタ、角形コネクタ、リボンケーブル用コネクタ、プリント基板用コネクタ、FPC（フレキシブル基板）用コネクタ、ナイロンコネクタ等多品種にわたります。

主としてスマートフォン、通信機器、カーエレクトロニクス等の分野から計測・制御機器、FA機器および医療機器などの産業用機器等の分野まで幅広く使用されているコネクタであり、今後のさらなる高度情報通信ネットワーク化社会および環境を考慮した省エネ化社会の進展とともに需要の拡大が見込まれております。

当期の連結売上高は1,071億53百万円（前期比11.3%増）、営業利益は264億7百万円（同1.1%増）となりました。

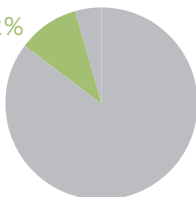
売上高



同軸コネクタ

売上比率

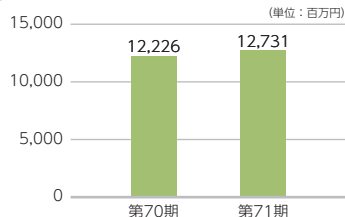
10.2%



同軸コネクタは、マイクロ波のような高周波信号を接続する特殊な高性能コネクタであり、主にマイクロ波通信機、衛星通信装置、電子計測器、またはスマートフォンおよび伝送・交換装置等に使用されるコネクタであります。なお、光コネクタ、同軸スイッチもこの中に含んでおります。

当期の連結売上高は127億31百万円（前期比4.1%増）、営業利益は20億81百万円（同0.3%減）となりました。

売上高



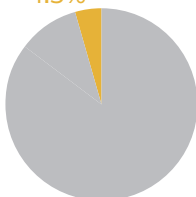
その他の製品

以上のコネクタ製品以外の製品として干渉波EMS等の電子医療・健康機器、マイクロスイッチ類およびコネクタ用治工具類を一括しております。

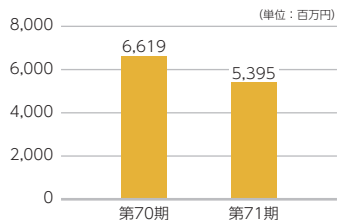
当期の連結売上高は53億95百万円（前期比18.5%減）、営業利益は1億61百万円（同39.4%減）となりました。

売上比率

4.3%



売上高



連結財務諸表

連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	当 期	前 期
	(平成30年3月31日現在)	(平成29年3月31日現在)
資産の部		
流動資産	251,113	252,709
固定資産	88,344	73,987
資産合計	339,458	326,696
負債の部		
流動負債	28,229	23,471
固定負債	7,445	6,931
負債合計	35,675	30,402
純資産の部		
株主資本	291,040	283,217
資本金	9,404	9,404
資本剰余金	11,463	11,223
利益剰余金	328,489	321,493
自己株式	△58,316	△58,903
その他の包括利益累計額	12,531	12,721
新株予約権	210	354
純資産合計	303,783	296,293
負債および純資産合計	339,458	326,696

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	当 期	前 期
	(平成29年4月1日から平成30年3月31日まで)	(平成28年4月1日から平成29年3月31日まで)
売上高	125,280	115,103
売上原価	67,509	61,097
売上総利益	57,771	54,005
販売費および一般管理費	29,121	25,522
営業利益	28,649	28,482
経常利益	29,234	29,799
税金等調整前当期純利益	28,392	29,336
法人税等	8,865	7,980
親会社株主に帰属する当期純利益	19,526	21,356

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結キャッシュ・フロー計算書

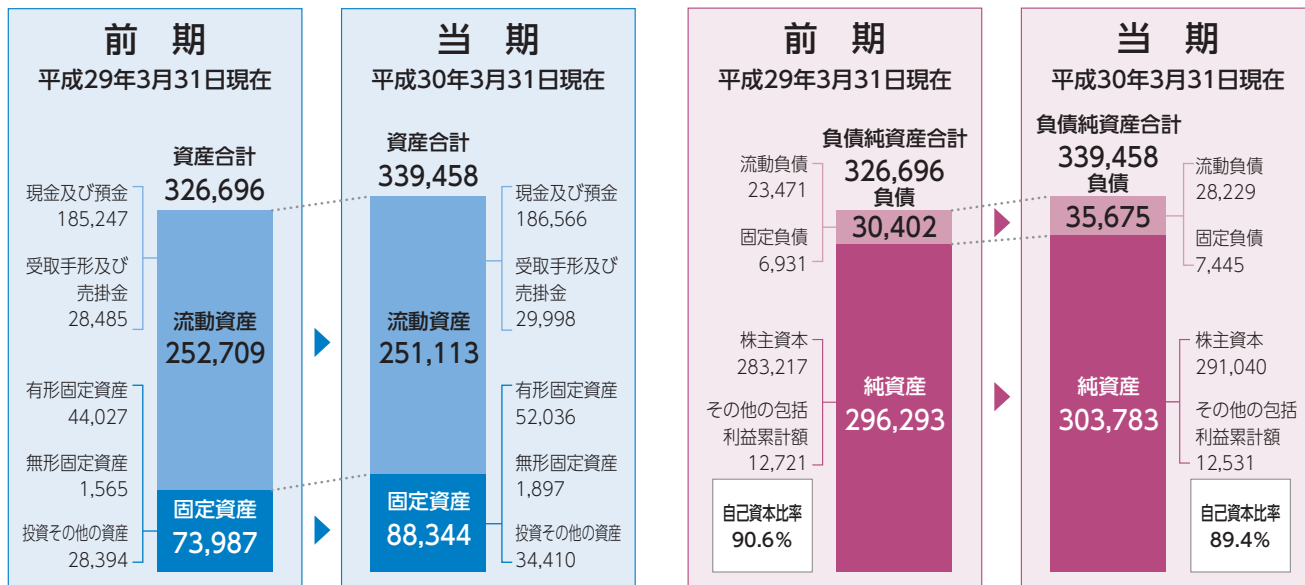
(単位：百万円)

科 目	当 期	前 期
	(平成29年4月1日から平成30年3月31日まで)	(平成28年4月1日から平成29年3月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	29,289	28,093
投資活動によるキャッシュ・フロー	△30,078	△10,585
財務活動によるキャッシュ・フロー	△11,839	△10,798
現金および現金同等物の期末残高	69,323	81,884

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

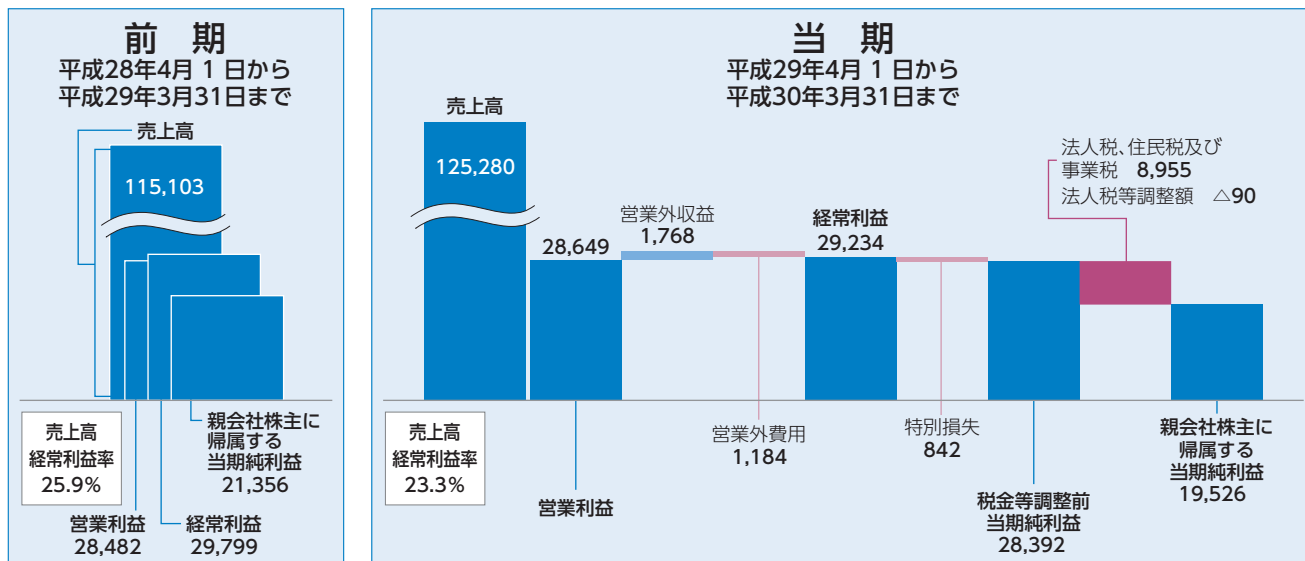
連結貸借対照表の概要

(単位：百万円)



連結損益計算書の概要

(単位：百万円)



新製品の紹介

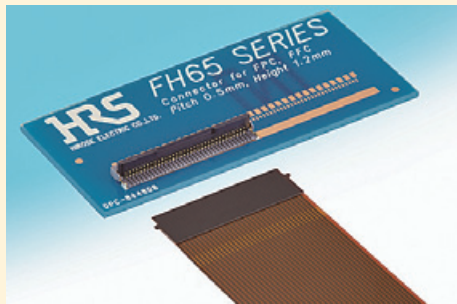
当社は毎年多くの新製品を市場へ供給いたしておりますが、その中から一部の製品シリーズについてご紹介いたします。

FH65シリーズ

FH65シリーズは、125℃までの高温動作を保証したFPC/FFCコネクタです。

近年、車載カメラ等のアプリケーションにおいて、耐熱125℃保証のニーズが急激に増加していることから開発した高信頼性コネクタとなります。

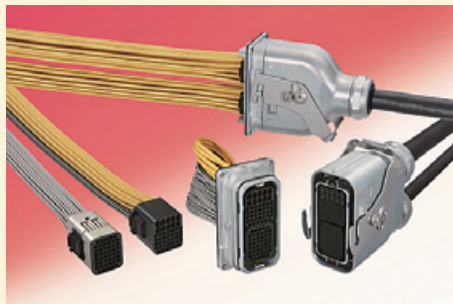
本製品は既存の同等コネクタと比較し、大幅な低背・小型化と優れたタブ構造によるFPC/FFCの保持力アップを実現しており、車載電装品以外にも産機および民生機器での幅広い採用が見込まれております。



PQ50WAシリーズ

PQ50WAシリーズは、産業用ロボットや工作機械、半導体製造装置、工場設備等の電源、信号用として開発した、当社独自の産業用IFコネクタです。

市場の要求に対し様々な仕様と芯数バリエーションを取り揃えてきましたが、近年は機器の小型化がさらに進み、コネクタにもさらなる小型化や電源・信号複合化のニーズが出てきております。PQ50WAシリーズは、その小型化においては電源部の発熱を抑えた高密度配線を実現、また、電源・信号複合化においては、優れたノイズ対策を施し、顧客ニーズに応えた製品となります。

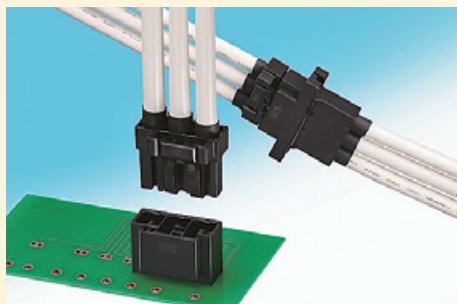


DF60Fシリーズ

DF60Fシリーズは、DF60シリーズ（内部電源用ワイヤー対基板、中継コネクタ）のバリエーション展開品として、作業時の安全性を考慮したフィンガープロテクト構造を備えたコネクタとして開発いたしました。

当社独自の構造により嵌合部に指が入らないため、高い安全性を確保し、蓄電池、UPS用のバッテリーモジュールなど放電が懸念される箇所の接続に最適な製品となっております。

また、UL、TUV等の安全規格に対応することで、欧州、北米市場への販売需要も期待しております。

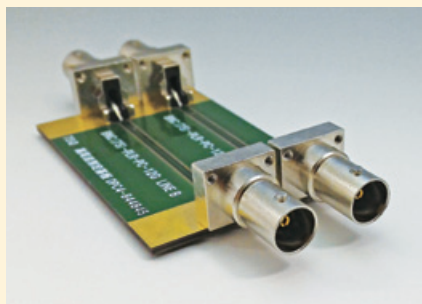


BNC75シリーズ

放送・医療・セキュリティなど様々な分野において4K/8Kの高精細映像機器の開発が進む中、同軸ケーブルによる4K高速信号の12G-SDI規格に対応するBNC75シリーズをこの度、開発しました。

このBNC75シリーズは、当社の持つ「ミリ波」や「高速多極」コネクタの設計・製造ノウハウを活かし、非常に優れた高周波特性を実現した同軸コネクタとなります。

放送分野以外にも医療、教育、美術、映画、広告など、様々な分野で採用検討が始まり、今後の広がりが期待できる製品です。



●一関試験センター新棟を稼働

子会社の一関ヒロセ電機株式会社内にコネクタメーカー最大級の延べ床面積2,600m²、ISO/IEC17025認定の「一関試験センター新棟」を新設し、平成30年3月23日から稼働いたしました。自動車メーカー、産業用機械メーカー、ロボットメーカーから寄せられるニーズへの対応力を向上させるため試験機能を強化いたします。複合振動試験機などの試験装置を増設し、主に振動、熱に関する品質テストへの対応力を質量ともに従来設備の約2倍と増強、製品によっては試験リードタイムを50%削減することが可能になります。



グループネットワーク

◎国内拠点

東北ヒロセ電機株式会社



一関ヒロセ電機株式会社



郡山ヒロセ電機株式会社



西日本営業所

関西支店

中部営業所

北関東営業所

本社



菊名事業所



横浜センター



◎海外拠点

ヒロセエレクトリックヨーロッパ



広瀬電機(蘇州)有限公司



広瀬(中国)企業管理有限公司



ヒロセエレクトリックインド



広瀬電機(東莞)有限公司



ヒロセコリア



ヒロセエレクトリックマレーシア



広瀬科技(深圳)有限公司



ヒロセエレクトリックUSA



台廣電子股份有限公司



ヒロセエレクトリックシンガポール



ヒロセエレクトリックインドネシア



広瀬香港有限公司
広瀬電機香港貿易有限公司



会社概要 (平成30年3月31日現在)

商号 ヒロセ電機株式会社
 設立 昭和23年6月15日
 従業員 連結4,597名 (パートタイマーを除く)
 資本金 9,404,379,401円

取締役および監査役 (平成30年6月27日現在)

代表取締役社長	石井和徳
常務取締役	中村充男
常務取締役	近藤真
取締役	飯塚和幸
取締役	岡野広明
取締役	桐谷幸雄
取締役	李相燁
社外取締役	堀田健介
社外取締役	元永徹司
常勤監査役	千葉良一
社外監査役	杉島光一
社外監査役	瀬下明
社外監査役	三浦健太郎

(注)

1. 取締役 堀田健介氏、同 元永徹司氏は、会社法第2条第15号に定める社外取締役であります。
2. 監査役 杉島光一氏、同 瀬下明氏、同 三浦健太郎氏は、会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。

会計監査人 有限責任あずさ監査法人

株式の状況 (平成30年3月31日現在)

発行済株式総数 34,848,588株
 (自己株式5,172,148株を除く)
 株主数 3,825名

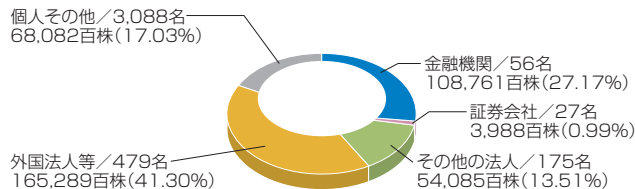
大株主 (上位10名)

株主名	持株数	持株比率
	百株	%
ジェービー・モルガン・チェース・バンク 380072	35,574	10.21
公益財団法人ヒロセ国際奨学財団	29,977	8.60
ステートストリートバンクアンドトラストカンパニー505223	27,262	7.82
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口4)	19,315	5.54
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	14,975	4.30
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	12,234	3.51
有限会社エイチエス企画	11,633	3.34
みずほ信託銀行株式会社信託口0700065	8,292	2.38
みずほ信託銀行株式会社信託口0700066	8,240	2.36
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口5)	6,173	1.77

(注) 上記大株主10名のほか、当社が自己株式51,721百株を保有しております。また、持株比率は自己株式を控除して計算しております。

株式分布

株式の所有者別状況



株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月開催

基準日 定時株主総会 毎年3月31日
期末配当金 毎年3月31日
中間配当金 毎年9月30日
(そのほか必要ある場合は、あらかじめ公告して基準日を定めます。)

〔株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について〕

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出およびご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、下記の電話照会先にご連絡ください。

単元株式数 100株

公告方法 当社のホームページに掲載します。
(<https://www.hirose.com/jp/ir/>)
ただし、電子公告を行うことができない事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載します。

株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

株主名簿管理人事務取扱場所 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(郵便物送付先) 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先) ☎ 0120-782-031

インターネットホームページURL <http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>

〔特別口座について〕

株券電子化前に「ほぶり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいますが)を開設しております。特別口座についてのご照会および住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。



ホームページ

<https://www.hirose.com/jp/>



IR情報

<https://www.hirose.com/jp/ir/>

個人投資家の皆様向けページ

<https://www.hirose.com/product/jp/pr/individual/>

